

# 東都大学図書館通信（深谷キャンパス）

## Event Report ♡

### 「この一冊を図書館に！」学生選書ツアーを開催しました

2025年9月16日、紀伊國屋書店新宿本店にて、学生が図書館に置いてほしい本を自ら選ぶ「学生選書ツアー」を開催しました。参加した学生たちは、書棚の前で実際に本を手に取りながら、真剣な表情で一冊一冊を選んでおり、普段とは少し違う“選ぶ側”的体験を楽しんでいる様子が印象的でした。「とても楽しかった」「面白そうな本を自由に選べてよかった」「選びたい本が多くて迷った」といった感想も寄せられ、充実した時間となったようです。ツアー中には先生方との本に関する会話も交わされ、皆さんがあれから多くの本に親しんでいる様子や、本への関心の高さが伝わってきました。図書館では、学生選書コーナーを設け、選ばれた本を展示します。また、2026年のゴールデンウィーク頃には、紀伊國屋書店新宿本店にて、今回の学生選書ツアーで選ばれた本のPOP展示会を開催予定です。詳細は、改めてご案内いたします。



## Historical Heroes 🌟



### 黒田チカ～色と化学の先駆者～

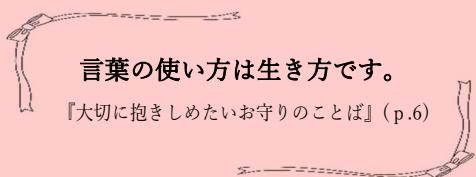
黒田チカは日本初の女性化学者で、女性が自由に学び活躍することが難しかった時代に先駆的な功績を残しました。佐賀市に生まれ、父の影響で学問の道へ進み、1913年に東北帝國大学の初の女性学生として入学。大学では紫根の天然色素・シコニンの研究に取り組み、結晶化に成功しました。その後、英国留学を経て女子高等師範学校教授となり、理化学研究所で紅花の色素構造を解明。1929年には化学分野初の女性理学博士となりました。戦後はタマネギの皮に含まれるケルセチンに注目し、高血圧治療薬「ケルチンC」の開発に貢献。1964年には彼女の人生を描いたNHKドラマ「たまねぎおばさん」が放映され、主演は市原悦子さんが務めました。ケルセチンは現在もサントリーの「特茶」などに活用される身近な健康成分です。

## 黒田チカ

出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」  
(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)

## Touching Words ♡

### ことばの贈り物～本の中から～



#### 言葉の使い方は生き方です。

『大切に抱きしたいお守りのことば』(p.6)

言葉は人の心を温かくすることもあれば、傷つけてしまうこともあります。伝え方次第で伝わる意味は変わるかもしれません。皆さんは日頃、どのように言葉を使っていますか？心のお守りとして、そばに置いておきたい一冊です。

## Book Picks ■



アーモンド  
(ソン・ウォンピョン 著/  
矢島暁子 訳/祥伝社)

生まれつき脳の「扁桃体」(アーモンド)が小さく、怒りや恐怖などの感情を感じにくい16歳の高校生・ウンジェ。祖母が彼を「かわいい怪物」と呼ぶ一方で、母は彼が普通に見えるよう、「相手が笑ったら微笑む」「褒められたら“ありがとう”と言う」など、幼い頃から感情の訓練を行いました。ある日、祖母と母が通り魔に襲われる事件が起りますが、ウンジェはその瞬間も静かに見つめることしかできません。突然ひとりぼっちになった彼の前に現れたのは、激しい感情を持つ同級生のゴニでした。正反対の二人の出会いは、ウンジェの心に少しずつ変化をもたらします。感情を理解しようとするウンジェの姿には胸が熱くなるばかりで、彼の成長と未来を見届けたくなる作品です。

## 無感情の僕に、心が生まれた日。

## Book Picks ■



1日ひとつ、疲れが消える  
おいしい漢方365  
(久保奈穂実 著/世界文化社)

## 暮らしにとけこむ、やさしい薬膳

暮らしに薬膳や漢方を取り入れたいと考えている皆様へ。漢方アドバイザー・久保奈穂実さんの著書『1日ひとつ、疲れが消える おいしい漢方365』は最初の一歩にぴったりの本です。久保さん自身の経験とカウンセリング実績がもとになっている、1日1テーマ365日分の優しい養生法は、「これならできそう」と思ってくれるものばかり。身近な食材で簡単に作れる薬膳レシピも113点収録されていて、「自分で自分の心身を元気に保つ」方法が満載の一冊です。おおらか漢方生活、始めてみませんか？

